

成田市教育委員会会議定例会会議録【会議概要】

平成25年12月成田市教育委員会会議：定例会

期日 平成25年12月20日(金) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時40分

会場 成田市役所5階503会議室

出席委員

委員長	秋山皓一	委員長職務代理者	小川新太郎
委員	高木久美子	委員	福田理絵
教育長	関川義雄		

出席職員

教育長	関川義雄(再掲)		
教育総務部長	深山芳文	生涯学習部長	諏訪峰雄
教育総務課長	伊藤和信	学校施設課長	藤崎宏行
学務課長	柳鶴暁	教育指導課長	山下隆文
学校給食センター所長	藤崎吉宣	生涯学習課長	秋山雅和
生涯スポーツ課長	大矢知良	公民館長	木川義夫
図書館長	大木孝男	生涯学習課課長補佐	木内悦夫
教育総務課課長補佐(書記)	宮崎由紀男		

【会議概要】

1. 委員長開会宣言
2. 教育長報告

主催事業等

○11月24日 市史講座について

小倉博先生を講師にお迎えし、門前町成田の変遷と祇園祭ということで講話をしていただいた。参加者は140名ほどで、図書館視聴覚ホールが満席になるほどの盛況ぶりであった。自分たちの町の歴史ということで興味関心を持っておられる方も多く、若い人から年配の方まで男女を問わず幅広い年齢層の方がお見えになっていたことも大変素晴らしいことだと思った。塙生神社のこと、山口や遠山の地名の由来等々、楽しく聞かせていただくことができた。

○11月27日 うしく現代美術展視察について

お配りした報告事項の中では、「うしく現代美術展視察」とあるが、美術展だけを視察したのではなく、生涯学習センターの視察も同時に行っている。これは、平成27年夏に、成田市

で「アジア基礎造形連合学会」を開催したいという申し出をされてきた千葉大学の後藤教授が、たまたま牛久市の教育委員長ということもあり、この時期、牛久市で開催されていた「うしく現代美術展」の紹介をされたので、日程調整を行い、生涯学習課長以下職員3名と牛久市の中央生涯学習センターを視察してきたものである。案内は生涯学習センター職員の他、後藤教授にもご協力いただき、丁寧に説明していただきながら絵画展と施設の視察をした。牛久市には生涯学習センターがこの中央生涯学習センターも含めて4施設もあり、大変充実している。今後開設するJR成田駅前の再開発ビル内のできる生涯学習関係施設の在り方についても参考になった。後藤教授とは今後も親交を深めていきたい。

○11月30日 公津の杜中学校校歌校章制定式について

教育委員長はじめ委員の皆様もご参加いただいたので詳細は省略するが、本年4月に開校以来、校歌と校章がないままここまで歩んできた公津の杜中に、大変素晴らしい校歌そして公募から決められた校章が制定され、間もなく卒業を迎える3年生にとっても、良い思い出となることと思う。

○11月30日 平成25年度明治大学・成田社会人大学修了式について

午後から大会議室で行われた。委員長とともに出席。195名が修了証書を手にした。修了式には明治大学から藤江副学長以下4人の先生方と社会連携事務長の合せて5人の方がお見えになって、修了者に修了証書を渡し、励ましの言葉をいただいた。前期6日間、後期5日間の計11日間の講義であったが、それぞれが本当に満足して終えることができたようである。なお、本年度称号授与者は、修学士32名、教学士4名、弘学士4名であった。それぞれの素晴らしい向学心に敬意を表したい。こうした方々のノウハウを是非、地域の学校教育にも役立てていただけたらと思う。

○12月7日 生涯学習講演会「南水ひとり語り」について

舞台朗読家、熊澤南水さんをお迎えして「もりんぴあこうづ」で生涯学習講演会が開催された。熊澤さんは以前にも同様の講演会で講師としてお願いした方だが、第一部として、ご自分がこれまで育ってきた状況をたっぷりと時間をかけてお話しされ、その大変な環境、苦労話などが語られた。また、第二部として、平岩弓枝作「ちっちゃなかみさん」を朗読されたが、朗読といっても、本を読むわけではなく、言葉の一言一言、すべて暗唱して語られ、その臨場感、思いのこもった言い回しに、参加された方々が皆、深く感動した。講演会は事前予約が必要だったが、それ以外に当日の飛び込み参加があり、座席数が足りなくなるぐらいの盛況ぶりであった。

○12月11日 臨時校長会議について

本来なら前日に開催された校長会議において、教育委員会からの様々な伝達や指導を行うべきであったが、教育民生常任委員会が開催されており、私以下、部課長が出席できないことから、この日の開催となった。内容的には人事に関する事柄が中心であり、議会の一般質問の概要等も伝えた。私からは特に所長訪問等で授業参観をしたことから気づいた点などを指摘させ

てもらい、学校が力を入れて指導すべきことを示唆した。

○12月16日 豊住小学校放課後子ども教室 文部科学大臣表彰報告会について

豊住小学校放課後子ども教室は、平成20年度の教室開設以来、多くの地域住民の方がボランティアとして参加し、学校・家庭・地域が連携協力して、多様な体験活動や交流活動を行ってきたことが評価され、文部科学大臣表彰となった。表彰を受けた団体は全国で138団体。そのうち千葉県では3団体が受賞した。放課後子ども教室は現在、全国で1,090市町村の10,376教室が開設されているとのこと。市内では、豊住小学校の他、遠山小学校、高岡小学校、美郷台小学校の3校で教室を開設しているが、豊住小学校では毎週木曜日の放課後に実施している。

○12月18日 下総小中連携推進委員会について

下総中で14回目の下総地区小中連携推進委員会を開催した。この会議は、これまで各部会で話し合われたことについて全員で確認をするために行ったもの。ここでは、特に開校式と入学式について協議した。当初、学校運営部会では、開校式には新1年生と7年生を除く2年生から9年生までが出席して行うこととしていたが、教育委員会事務局で話し合った際、やはり7年生も開校式に出席させるべきとの意見が出て、結果的に学校運営部会の結果を覆させることになった。小中一貫校では7年生の取り扱いについては難しい一面があり、6年生の卒業式を実施すると、当然7年生も入学式を実施すべきものとなるが、このあたりの解釈、考え方がまだ定まっていない。一貫校がスタートする前に考え方を明確に理解していただく必要があると感じた。

○12月19日 ふれあいコンサートについて

「ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉」のメンバーによる弦楽四重奏。議場を会場として演奏する予定だったが、議会審議が長引き、市役所6階大会議室で行われた。私は議会の関係もあり、初めの1曲しか聞けなかったが、さすがにプロ。素晴らしいの一言である。あいにくの冷たい雨模様で、本来ならもう少し大勢の方に聴いていただきたかったと思った。

市議会

○11月29日～12月19日 平成25年12月成田市議会定例会について

本議会に提案した議題等は別添資料の通りである。既に昨日議会は終了しているが、今回は、一般質問で、国際医療福祉大学の誘致問題と、台風26号による被害とその対応に係る質問が多く、教育委員会への質問は比較的少なかった。なお、今回市から提案したすべての議案が可決された。

○12月10日 教育民生常任委員会について

会議資料として、議会関係資料もお送りさせていただいたが、教育民生常任委員会では、教育総務部関係、生涯学習関係それぞれ1議案について審議していただいた。一つは本城小学校学校給食共同調理場増築工事（建築工事）請負契約の変更について、もう一つは豊住第一スポ

ーツ広場はじめ12施設の指定管理者の選定についてであるが、これらの内容については既に教育委員会会議においてもご報告してあるが、常任委員会でも全会一致で可決された。会議ではこれら議案審議の他、所管事務調査ということで教育委員会からは台風26号による、教育委員会所管施設の被害状況他、3点の説明をしたところである。この中で、水上副委員長から（仮称）畑ヶ田多目的スポーツ広場の件について、地域住民に対する説明はどうするのか、との質問があり、企画政策課より、改めて説明するとの回答があった。

○12月13日 総務常任委員会について

補正予算を提出していたので、この予算審議の部分だけ出席した。特に教育委員会所管事業に関する質問はなかった。

その他

○11月26日 印旛地区公立高等学校PTA合同研修会について

大栄公民館大ホールで開催。印旛地区の公立高等学校14校が参加。今年度の幹事校は成田北高等学校ということで職員・保護者併せて36名の参加があったが、他の高校はほとんどが学校職員の他はPTA会長と副会長でおおよそ6名から10名程度の参加であった。公立小中学校のPTA研修会もそうであるが、どうしてもこうした定期的な全体研修会は会長や副会長だけの参加になりやすい。これで本当に本来の目的を達成しているのだろうか、と思うこともあるが、保護者を研修に参加させるというのは、単にその自主性に頼ってばかりでは、何もできないため、こうしたやり方も現状では、やむを得ないのではないだろうか。

○11月27日 「第26回関東少女サッカー大会」準優勝報告会について

La Ciruela（ラ・シルエラ）成田U12という女子サッカーチームがあるが、ここの12歳以下のチームが県大会で好成績を収め、県代表となり、関東大会に参加。ここでも見事に準優勝という成績を残したので、その成果を報告に市役所を訪問した。チームは成田にあっても、このチームで活動するため、県内、四街道や白井、富里などからも選手が集まってLC成田に所属している。女子チームが少ないということもあるが、練習環境が整っているということが大きな魅力になっているものと思う。今後も活躍を期待したい。

○11月28日 ふれあいレストランについて

ふれあいルームで開催した。ルームの子どもたちが、教育委員会関係者を招き、自分達でクリームシチューと野菜サラダ、ごはん等を作って、有料で提供するという催し。有料といってもこれは材料代。ルームの子どもたちと一緒に食事を楽しんだ。普段あまり接することのない子どもたちで、この日初めて話をする子も多かったが、どの子も気さくに話しに応じ、楽しいひと時を過ごすことができた。ここに通う子どもたちはどうしても人と接する機会が少なくコミュニケーションがうまくとれないケースが多いのだと思うが、こうした機会は子どもたちに元気と勇気を出させるためにも良い試みだと思った。

○12月1日 第83回印旛都市駅伝競走大会について

第三種公認取得のため工事中の佐倉市岩名運動公園陸上競技場が利用できないため、隣接する佐倉市立内郷小学校校庭をスタート、ゴールとするコースで行われた。それぞれ一般の部と高校の部と一緒に、中学校の部が10分後にスタートするという形だったが、第83回という回数からもわかるように長い歴史のある大会である。このコースは一般車両の通行を止めることができず、車が行き交う中、選手は道路の左端を走るといふ、やや危険な状況で続けられている大会である。歴史と伝統は大事だが、もう少し安全な方法で開催できないものだろうかと思う。なお、この大会で成田は一般の部で優勝した。事前の予想を覆す快走は素晴らしい。

○12月6日 なかよし発表会について

大栄公民館大ホールで市内特別支援学級の発表会が催された。これは、成田市教育推進特別支援教育部が主催し、毎年実施している行事である。この日の発表に備えて、各校の特別支援学級で練習を重ねてきたのだと思うが、内容はなかなか見ごたえのあるものもあり、子どもたちや指導されてきた先生方の思いを感じ取れる素晴らしい発表会であった。保護者の方もこれを楽しみに来てくださる方がいらっしゃるようで、なかなか盛会であった。こうした体験を通じて、子どもたちのコミュニケーション力や社会性が少しでも育ってくれることを願いたい。

○12月6日 教育長・校長合同会議について

多古コミュニティプラザで、北総地区全小中学校長と市町教育委員会教育長を対象とした合同会議が行われた。事前にお配りした教育長報告では、「印旛地区」となっているが、「北総地区」の誤りであるので訂正願いたい。会議の内容は年度末人事異動について、その人事異動方針の説明を中心になされたわけだが、以前、教育長会議で聞いた内容からほとんど変わったものはなく、本当に大まかな説明のみで、詳細は市町教育委員会に問い合わせしてほしい、といった内容だった。これだけ大規模な会合ならもう少し中身の濃いものであってほしい。会議時間より会議場所までの移動時間のほうが長いという方の方が多かったのではないか。合同会議の意味をよく考え、実施していただきたいと感じた。

○12月7日 直売所しもふさオープン式について

JR滑河駅に近い、利根川堤防上を走る国道356号線沿いに下総宝船公園があるが、その公園脇に新たに地元野菜の直売所が開設され、その記念式典があった。市長、副市長、議長、はじめ、多くの方の出席する中、華々しくオープンした。初日は黒山の人だかりで賑わっていた。今後この地域の農業生産の活性化につながることを期待したい。

○12月7日 成田市体育協会表彰祝賀会について

市体育協会の中で、今年度4名の方、青木徳太郎さん（体育協会参与）、関山末子さん（卓球協会副会長）、柴木敏雄さん（剣道連盟）、藤原武昭さん（テニス協会顧問）が、それぞれ、文部科学省生涯スポーツ功労者表彰、千葉県体育協会功労賞表彰、千葉県東部郡市体育研究協議会功労者表彰を受けたため、その祝賀会が開催された。どの方も長年それぞれの専門性を生かした指導を続けてこられた方で、生涯スポーツに尽力した功績は多大である。今後ご自身の健康維持増進のため、また、後進の指導に力を発揮していただきたい。

○12月11日 成田西陵高校「全国高校生 みんな DE 笑顔プロジェクト」優勝報告会について

これは、全国の高校生から「農」をテーマにした様々なアイデアを募集し、その成果を競い合うもので、農業高校だけでなく、商業高校、工業高校など、全国から115校160チームがエントリーし、地区大会を勝ち抜いた6チームが決勝大会に臨んだもの。その中での優勝である。西陵高校は、野菜や果樹の害虫であるアブラムシを、天敵であるテントウムシを利用して防除する技術を提案したもの。テントウムシの羽を接着剤で固定し、飛ばないようにするとともに、圃場を畔板で囲み、テントウムシを圃場に留めて防除するというもの。この接着剤は簡単にはがすことができ、生殖にも影響はしないなど、テントウムシの生態にも配慮した点がポイントで、11月には、フランス領タヒチ政府の農業省大臣から問い合わせを受けるなど、世界的にも注目される技術だということだ。この技術について、担当の清水先生（昆虫で有名な先生）は、企業による独占や事業化を防ぐため、特許を出願中ということだった。この研究チームのリーダーは市内西中学校の出身だそうで、すでに大学進学を決め、引き続き研究を続けていくとのこと。素晴らしいことである。

《教育長報告に対する主な質疑等》

委員：全国高校生みんなDE笑顔プロジェクトについて詳しく説明願います。

関川教育長：JA全中が主催し、全国の高校生から農業をテーマとした様々なアイデアを募集して競うというもの。圃場において、アブラムシの天敵であるテントウムシにアブラムシを食べさせることで、農薬を使わずに済み、環境にもやさしいという取組である。テントウムシが飛んで行かないように、羽を接着剤で固定することにより、そのテントウムシは飛ぶことが出来ないため、その畑に留まり、畑にいるアブラムシを駆除してくれることになる。また、何日かで接着剤はとれるため、テントウムシは元に戻ることが出来るので、生態に影響はない。その技術については、海外からも注目されており、今後、特許を取るとのことであった。

委員：印旛郡市駅伝大会には中学生も参加していると思うが、結果がわかれば教えて下さい。

大矢生涯スポーツ課長：中学校の成績は、公津の杜中学校が10位、成田高校附属中が11位、西中学校が16位、成田中学校が17位、大栄中学校が20位、23位が中台中学校となっている。

委員：レースは男女別々で行われたのか。

大矢生涯スポーツ課長：男女混合のチーム編成で参加している中学校もある。

委員：以前、西中学校のチームが連続して優勝していると思う。

大矢生涯スポーツ課長：その当時のメンバーである櫻井さん、工藤さんは、今回、成田市のCチームで参加している。

3. 議 事

(1) 議 案

(成田市教育委員会会議規則により非公開とする議決)

<これより非公開>

議案第1号 平成25年度印旛郡市地方教育委員会連絡協議会教育功労表彰者の推薦について

《審議結果》

可 決

<非公開を解く>

議案第2号 成田市就学援助費支給規則の一部を改正するについて

柳鶴学務課長 議案資料に基づき提案

(要旨)

生活保護法による保護の基準の一部が改正され、平成25年8月1日から適用されることとなり、このことに伴い、平成25年度においては、生活扶助基準の見直しの影響が及ばないように6月の教育委員会会議定例会において本規則の一部を改正したところであるが、来年平成26年度においても、生活扶助基準の見直しの影響が及ばないように引き続き同規則の一部を改正しようとするものである。改正する規則については、すでに8月より施行されている平成25年7月31日成田市教育委員会規則第5号に準じて改正しようとするものである。今後は、例規改正担当課である総務課と協議調整を進める。

《議案第2号に対する主な質疑》

委員：以前の会議で審議し、基準が下がったことにより該当しないとならないようにするものであったが、平成27年以降はどのようなになるのか。

柳鶴学務課長：6月の会議では、今年度末までこれまで通りとすることについて、規則改正をしたところである。生活保護基準の改正が今後、平成26年度、27年度に見直しをする方針があると聞いているが、現時点においては、平成26年度までは、従前の基準で対応していけるように改正するものである。

委員：平成26年度以降、生活保護基準が下がることは保護者に伝わっているのか。

柳鶴学務課長：福祉担当課で保護受給者には対応していると思う。

議長：議案第2号 成田市就学援助費支給規則の一部を改正するについて、を原案のとおり決する。

議案第3号 成田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

藤崎学校給食センター所長 議案資料に基づき提案
(要旨)

本案は、学校給食施設整備計画に基づき、親子方式による給食施設として、現在整備を進めている本城小学校学校給食共同調理場が平成26年4月から運用を開始することに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定により、成田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例に本城小学校学校給食共同調理場の規定を加える改正を行おうとするものである。施行日は、平成26年4月1日。

なお、本条例の改正については、平成26年3月議会に提案をする予定。

《議案第3号に対する主な質疑》

なし

議長：議案第3号 成田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正す

るについて、を原案のとおり決する。

(成田市教育委員会会議規則により非公開とする議決)

<これより非公開>

議案第4号 成田市文化振興マスタープラン策定委員会の設置及び委員の選任について

《審議結果》

承 認

<非公開を解く>

議案第5号 成田市地区運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて

大矢生涯スポーツ課長 議案資料に基づき提案

(要旨)

平成26年度より、学校適正配置計画に伴い、東小学校が遠山小学校に、滑河小学校、小御門小学校、名木小学校及び高岡小学校が下総小学校に統合される。統合後も、東小学校、滑河小学校及び高岡小学校の体育館・運動場については、豊住・中郷運動施設同様、市民の健康増進及びスポーツ活動等を気軽に楽しめる施設として有効利用を図ることとし、使用料については、既存の運動施設同様、施設全体の利用方針が決定するまでの間、市民が利用する場合は無料とする。地区運動施設の名称は、東小学校の運動施設を十余三運動施設、滑河小学校を滑河運動施設、高岡小学校を高岡運動施設としようとするものである。

この改正案をご審議、ご承認いただき、平成26年3月定例市議会に提案する。

《議案第5号に対する主な質疑》

委 員：この他に、小御門小学校と名木小学校も閉校するが、それらはどうなるのか。

大矢生涯スポーツ課長：今回、運動施設として設置を考えるにあたり、1運動施設あたり300万円以上の経費がかかることもあり、利用人数を考慮した。名木小は利用者数が昨年実績で400名程度であるため、対象から外させていただいた。小御門小についても、近くに下総小学校が新設されるため、対象から外させていただいた。

委員：名木小と小御門小の体育館は当分の間、どのように管理されるのか。

伊藤教育総務課長：閉校により普通財産となるが、久住第二小と同様に施錠し、教育委員会が管理することになる。

議長：議案第5号 成田市地区運動施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正するについて、を原案のとおり決する。

4. 委員長閉会宣言